

## 自分の学習の振り返り

右の題の言葉は、毎年のこの時期に行つ「入学説明会」の時に説明させていただく資料の中にあります。」やうに見せて、次は自分で「見守りながら待つ。そして、できたよほめる。」「……なご継続していきましょう。」

二月一日に、本校の教育研究会・参観日を行いました。その後、来賓の方・参加された県内の先生方・参観をされた保護者の皆様、一同にお褒めいただいたのが、まさに「自分たちの授業を自分たちで進める子ども達」の姿でした。三・四年生の複式学級では、自分たちで課題解決に向かつて考え、わからない所を出し合い、皆の考えを集約していく学びを行わなければなりません。そうすることで、教材文を通して、文学作品の主題に迫る深い学びを行うことができました。

回学年でも、一週一週「短」の学びな学習ができたのではありません。二年生の時に、疑問・課題を見つけ解決していく学習活動に自分で取り組むことができるようになったこと、中学年につながっていくと思います。

また、高学年では、中学年での「自分たちで進める学び」を生かすこと、内容をさらに充実し、教材文から課題に沿った「自分の考え(主張)」を文章の中から「根拠」を見つけ、それを拠り所とした確固たる「理由」で、自分の考え(主張)を補完する学習を行いました。このような高学年の学びができたのも、まずは、「根拠」「理由」「主張」といったことを関連付けて論を展開する手法(三角ロジック)の使い方を少しづつ子ども達に指導し、使える(表現できる)ようになってきたからだと思います。

国語科の学習の中で、先に述べたようなことが完璧にできているわけはありませんが、小学校での目標の「一つである」自分のことは自分です」の学習を通して、子ども達に「自分たちで進める学び」が実現しているように感じています。

家庭・地域でも、「生活の中での」「自分たちのことは自分たちで」「やう、手をかけずきず、見守りながら子ども達の成長を促していただければ、ありがとうございます。」

校長 田丸 米